

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度 平成 25 年度

1次評価日（主幹等） 26年 3月 25日

2次評価日（課長等） 26年 3月 31日

1 事業名	市営住宅管理事業	コード	133201
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 小口 徹
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	計画的土地利用の推進	施策	住宅・宅地の整備
		予算科目	市営住宅管理総務費、市営住宅維持補修費、市営住宅施設整備費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		設置条例	岡谷市営住宅条例		

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	市営住宅（16団地 管理戸数 624戸）		
目的	対象者	住宅に困窮する低所得者（入居資格あり）	
	意図	低廉な住宅を提供して、生活の安定を図るとともに、入居者の快適な住環境を維持するため、施設の適切な維持管理や改修及び修繕を行う。	

5 施設の管理運営状況		25年度指定管理料	円
施設における通常業務	1. 入居者募集（6, 10, 2月） 2. 家賃算定 3. 監理補助員の研修 4. 消防訓練の実施 5. 施設設備の点検 6. 施設修繕		
事業の実施内容	（25年度に施設で行った運営事業・自主事業など） 主な工事として、上ノ原団地のガス管入替え工事、小萩K-1団地の屋根改修工事及び手摺設置工事、田中線団地の雨水浸透施設設置工事を実施した。		
前年度の課題への対応	ストック総合活用計画に基づき、小萩K-1団地の屋根改修工事を実施した。		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	365	365	365	365
1日の開設時間（時間）	24	24	24	24
年間利用可能時間（時間）	8,760	8,760	8,760	8,760
年間利用実績（時間）	8,760	8,760	8,760	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	559	548	534	526
有料利用件数	558	548	534	526
無料利用件数	0	0	0	0
減免措置件数	1	0	0	0
④ 1日あたり利用者数、件数	1.5	1.5	1.5	1.4
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	54,643,523	47,393,775	51,667,674	73,632,000
経常経費	26,461,523	30,766,085	29,528,524	73,612,000
臨時的経費	28,182,000	16,627,690	22,139,150	20,000
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	24,000,000	24,000,000	24,000,000	16,000,000
正規職員の人数(人)	3.00	3.00	3.00	2.00
③ 合計コスト(①+②)	78,643,523	71,393,775	75,667,674	89,632,000
前年度比		90.8%	106.0%	118.5%
財源				
一般財源	-43,651,272	-49,111,042	-45,341,804	-34,301,000
内訳				
特定財源	122,294,795	120,504,817	121,009,478	123,933,000
* 特定財源の説明	住宅使用料、駐車場使用料等			
④ 施設使用料年間収入額	119,213,295	106,521,217	106,714,478	107,344,000
⑤ 年間減免措置額	153,600	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	218.4%	224.8%	206.5%	145.8%
⑦ 活動一単位あたりコスト	90,271	99,938	100,241	
前年度比		110.7%	100.3%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

低い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		0
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		0

9 有効性評価

* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		0
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 97.4%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比 100.2%

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) コストの削減やサービスの向上を図るには管理委託が望ましい。
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 市営住宅の管理を長野県住宅供給公社に委託する。
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画(PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	C
-----------	--------	---	---

13 大規模修繕の予定

予定事業費	26,430,000	円	予定時期	平成26年度
内容	小萩K2団地屋根外壁改修工事及び雨水浸透柵設置工事、中村A・C団地水道メーター交換工事			